

事務事業 No./名称	■サービス部門 消防-09 □支援部門		消火栓管理事業				
主管課	警防救急課	関連課					
分野名	地域安全						
目標 (目標値)	火災、各種災害等に対応できるよう、消防施設の維持管理を行う。						
人口等のデータ	データ区分	22年度	21年度	20年度	備考		
	人口	177,161人	176,669人	176,484人	・各年4月1日 (住民基本台帳)		
	世帯数	78,812世帯	78,131世帯	77,430世帯			
事業の対象者数							
運営資源状況	決算値(千円)	1,542	4,003	32,532			
	(国・県)	119	119				
	(負担金等)						
	(一般財源)	1,423	3,884	32,532			
	人員配置数	1.0	1.0	1.0			
	人件費(千円)	9,183	9,636	9,564			
	協働のパートナー						
事務事業運営経費	総事業費(千円)	10,725	13,639	42,096			
	市民1人当りの経費(円)	61	77	239			
	対象者1人当りの経費(円)						
ベンチマーク (県内外自治体や民間団体との比較値)	団体名						
指標	評価	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終年度(年度)
消火栓管理事業の達成率	◎	目標値	100	100	100	100	100
		実績値	100	100			

◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。
小事業名	H22決算値	評価 適切=○、要改善=△(評価の視点を参照)	⇒ 方向性	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止
消火栓管理事業	1,542千円	①効率性 ○ ②妥当性 ○ ③有効性 ○ ④公平性 ○	⇒	□A ■B □C □D □E
	事業の概要	消火栓の維持管理		
		①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性	⇒	□A □B □C □D □E
	事業の概要			
		①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性	⇒	□A □B □C □D □E
	事業の概要			
		①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性	⇒	□A □B □C □D □E
	事業の概要			
		①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性	⇒	□A □B □C □D □E
	事業の概要			

中事業の評価結果

事業診断(課長評価)				
H22年度の課題	定期的に点検を実施し、維持管理に努める。			
課題解決のための取組	水道営業所と連携し維持管理に努めた。			
未解決の課題	消火栓の設置及び管理等に関する協定書に基づき点検を実施し、課題等はありません。			
今後の方針	引き続き消火栓の維持管理に努め、消防の責任を果たす。			
今後の方向性	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止	⇒ B	※ □事業完了	課長名 齋藤 務

